

Ophthalmology

眼科医療機器紹介

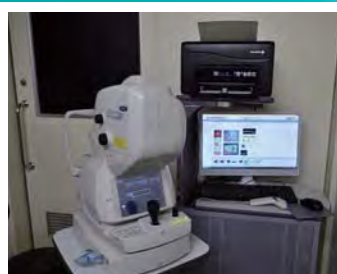
EYE CENTER

CASIA 前部 OCT



非接触で前眼部の断層像を撮影することができます。その画像を用いて緑内障・角膜の疾患を検査・診断するのに有用な器機です。

Triton スウェプトソース OCT



黄斑部疾患や緑内障を含む様々な網膜疾患の早期発見、経過観察、定量的評価を行うための器機。従来では網膜までの断層像しか得られなかったものが、脈絡膜までの断層像を高精細に撮影できるSS-OCTの機能を有しています。

California



無散瞳・非接触で画角 200 度、眼底の 80% 以上の領域を無散瞳、非接触で撮影します。従来の検査機器では観察困難な眼底周辺部の病変も撮影することができます。三重県での導入実績は当院を含め 2 台のみです。(平成 29 年 4 月現在)

nonmydWx



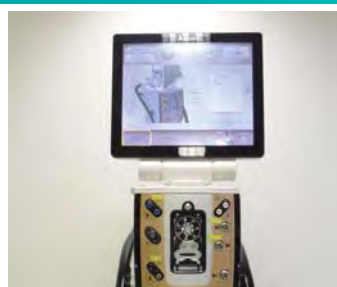
無散瞳で患者さんの負担が少なく簡単に眼底が撮影でき、特に緑内障の診断及び経過観察に有用なステレオ眼底撮影機能を備えた眼底カメラです。立体観察(視神経乳頭の形状を立体的に観察できる。)と 3D 表示が可能です。

PASCAL パターンレスキャンニングレーザー



照射時間が短く、熱の発生が少ないレーザーの為、患者さんへの痛みが少ないレーザーです。一発ずつレーザーを照射するだけでなく、パターン機能により一度に複数レーザーを同時に照射できるため、時間短縮になり、患者さんにも負担が少ない処置ができます。

白内障手術装置 CENTURION



白内障手術時の眼内圧を一定に保つ機能により術中起こり得るリスクが可能な限り低くなり、よりスピーディーにより安全な手術を行うことができます。

VERION™ イメージガイドシステム



白内障手術時における術後検査・手術時・術後検査をサポートし白内障手術の質を更に向上させます。これにより手術時間の短縮かつ術後結果の向上が期待できます。更には高付加価値眼内レンズといわれる多焦点眼内レンズ・トーリック眼内レンズの使用時により効果を発揮します。三重県では当院が唯一の導入医療機関です。(平成 29 年 4 月現在)

網膜・硝子体 / 白内障手術装置 コンステレーション



小切開で硝子体手術を行うことができ、患者さんの負担の軽減・術後の感染防止・視力改善の向上・再手術の減少などがあります。IOP コントロール機能により一定した眼内圧維持が可能となりより安全に手術を行うことができます。

広角観察システム



硝子体手術時に眼底を広い範囲で観察しながら手術を行うための器機です。

眼瞼手術装置 炭酸ガスレーザー手術装置



眼瞼下垂手術において、低侵襲で出血の少ない手術が可能となります。